

問1 市場経済において、特定の企業が市場を独占したり、複数の企業が価格をあらかじめ相談して決める行為などが独占禁止法によって制限されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 競争がなくなること、商品の価格が不当に高く維持されたり、品質向上の意欲が低下したりして、消費者の利益が損なわれるのを防ぐため
2. 商品の欠陥によって消費者が被害を受けた際、企業に過失がなくても損害賠償を求めることができる権利を保障するため
3. 市場に流通する通貨の量を調節することで、物価の安定を図り、急激なインフレやデフレが起こらないようにするため
4. 不当な勧誘によって締結された契約を消費者が後から取り消せるようにし、契約上のトラブルを未然に防止するため

問2 戦国時代の日本において、全国統一の動きを加速させる要因となった鉄砲について、その伝来の経緯を説明したものとして正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

1. 日明貿易の進展に伴い、日本の商人が中国から直接買い付けて持ち帰った。
2. 元寇の際に、元軍が使用していた「てつほう」を日本側が改良して国産化した。
3. キリスト教の布教を目的としたスペイン人の宣教師によって、平戸で初めて紹介された。
4. 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。

問3 室町時代における政治的混乱と社会の変遷について述べた文として、歴史的事実の順序が正しいものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 各地で戦国大名による領国支配が進む中で、その対立を解消するために足利尊氏が南北朝の統一を宣言したが、直後に応仁の乱が発生して幕府は滅亡した。
2. 応仁の乱によって幕府の権威が失墜したことを受けて、足利義満が南北朝の統一を行うことで混乱を収束させ、その後に有力な守護が大名として各地を支配した。
3. 足利義満が南北朝の統一を成し遂げた後、將軍の跡継ぎ問題などを背景に応仁の乱が起こり、実力のある者が上位の者を倒す下剋上の風潮の中で戦国大名が登場した。
4. 鎌倉幕府を倒した直後の応仁の乱によって社会が混乱したが、足利義満がこの乱を鎮圧して南北朝の統一を達成し、戦国大名の出現を未然に防いだ。

問4 明治政府が、殖産興業の初期段階において、特に製糸や紡績といった軽工業の工場を優先して建設した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)

1. 生糸などの製品を輸出することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとしたから
2. 鉄道や軍艦を自ら製造するために、鉄鋼の生産量を増やす必要があったから
3. 農村の余った労働力をすべて都市の工場に集め、農業を廃止しようとしたから
4. 外国との貿易を制限し、すべての工業製品を国内だけで自給自足するため

問5 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、1 2月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

1. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
2. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
3. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
4. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため

問6 群馬県の伊香保を詠んだ和歌などが収録されている『万葉集』の原文において、すべて漢字のみで構成されているものの、現代のひらがな表記と照らし合わせると漢字一文字が日本語の一つの音に対応するように記述されている。このような表記方法を何と呼ぶか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 漢文訓読
2. 候文
3. 国字
4. 万葉仮名

問7 アフリカ大陸の気候帯の構成に関する記述として、統計上で熱帯が約39%、乾燥帯が約47%と大陸の大部分を占めていることを踏まえ、この大陸の気候の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)

1. 熱帯と乾燥帯が大陸の大部分を占めており、亜寒帯や寒帯は存在しない。
2. 温帯が大陸の大部分を占めており、南北の両端にわずかに熱帯が見られる。
3. 赤道付近から高緯度地域まで広がるため、亜寒帯から熱帯までの全ての気候帯が存在する。
4. 乾燥帯が最も広い面積を占めるが、標高の高い地域には広大な寒帯が分布している。

問8 瀬戸内地方において、年間を通じて降水量が少なくなる理由を、地形と季節風の関係から説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)

1. 大陸から吹き付ける乾燥した季節風の影響のみを一年中受け続け、海からの空気が入り込まないため。
2. 周囲に高い山地が存在しないため、湿った空気が上昇して雲を作る仕組みが働かないため。
3. 赤道付近から北上してくる暖流の影響により、雲が発生しにくい安定した高気圧に常に覆われるため。
4. 北の中国山地と南の四国山地が、夏と冬それぞれの季節風が運んでくる湿った空気を遮るため。

問9 ヨーロッパの言語や文化の境界線について説明した次の文の空欄にあてはまる組み合わせを選びなさい。「ヨーロッパでは（ X ）山脈付近を境に、北側と南側で言語グループが異なる。南側の地域では古代ローマの影響を受けたラテン系言語が普及しており、農業面では（ Y ）を活用した栽培が特徴的である。」 (2025年 群馬県公立入試 類似)

1. X：スカンディナビア
Y：フィヨルド地形
2. X：アルプス
Y：地中海沿岸の夏の乾燥した気候
3. X：ピレネー
Y：内陸部の寒冷な気候
4. X：アルプス
Y：北海沿岸の偏西風と暖流

問10 平安時代に平仮名や片仮名が広く普及する以前、奈良時代の人々が日本語の和歌や文章を書き記すために用いた工夫について、正しい説明はどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 朝鮮半島から伝わったハングルを日本語の音に当てはめた
2. 漢字を簡略化して、現在の平仮名と全く同じ文字を考案した
3. すべてを中国語の文法に翻訳し、漢文としてのみ記録した
4. 漢字の音や訓を借りて、日本語の音をつずつ漢字で表記した

問11 大都市の消費地に近い場所で行われる農業が、宮崎平野や高知平野で行われている「促成栽培」と比較した際に、経営上の大きな利点となっている要素として最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 広い平地を確保しやすいため、大型機械を導入して生産コストを大幅に下げられる点
2. 標高の高い地形を利用することで、夏でも涼しい気候を活かして野菜を作れる点
3. 市場までの輸送距離が短いため、輸送コストを低く抑えられ、鮮度を保てる点
4. 温暖な気候を利用することで、他の地域よりも出荷時期を早めて高値で販売できる点

答え合わせ・解説

問1	答え 1 競争がなくなること、商品の価格が不当に高く維持されたり、品質向上の意欲が低下したりして、消費者の利益が損なわれるのを防ぐため	市場で競争が正しく機能すると、企業は他社よりも多くの商品売るために、価格を下げたり品質を上げたりする努力を行います。しかし、独占や談合が行われると、企業はそうした努力をせずに利益を得られるようになり、消費者は高い価格で質の低い商品を買わされるリスクが生じます。独占禁止法は、このような状況を防ぐことで「消費者の利益」を守ることを目的としています。
問2	答え 4 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。	鉄砲は1543年、鹿児島県の種子島に漂着したポルトガル人によって伝えられました。当時の島主であった種子島時堯がこれを買取り、刀鍛冶に命じて国産化を試みたことが、その後の日本国内での普及につながりました。モンゴル襲来時に使用された「てつほう」は火薬を用いた投擲武器であり、火縄銃とは構造が異なります。
問3	答え 3 足利義満が南北朝の統一を成し遂げた後、將軍の跡継ぎ問題などを背景に応仁の乱が起こり、実力のある者が上位の者を倒す下剋上の風潮の中で戦国大名が登場した。	室町幕府の三代將軍である足利義満は、1392年に南北朝の合一（統一）を実現し、幕府の全盛期を築きました。しかし、1467年に始まった応仁の乱により幕府の権威は大きく衰退しました。この乱をきっかけに、実力で主君を倒す「下剋上」の動きが加速し、それまでの守護大名に代わって、自らの力で領国を支配する戦国大名が各地で台頭する戦国時代へと移行していきました。
問4	答え 1 生糸などの製品を輸出することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとしたから	明治初期の日本において、生糸は最大の輸出商品であり、貴重な外貨（外国のお金）を稼ぐ手段でした。政府は質の高い生糸を大量に生産して輸出を増やすことで、得られた外貨を軍備の増強や重工業の機械購入といったさらなる近代化の資金に充てようと考えました。そのため、まずは製糸や紡績といった軽工業から近代化が進められました。
問5	答え 2 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問6	答え 4 万葉仮名	当時の人々は、自分たちの言葉である日本語を書き残す際、外来の文字である漢字を「音（オン）」や「訓（クン）」として利用しました。例えば「いかほ」という地名を「伊香保」と書くように、漢字本来の意味を無視して日本語の音を写し取ったもので、これが後の平仮名や片仮名の原型となりました。
問7	答え 1 熱帯と乾燥帯が大陸の大部分を占めており、亜寒帯や寒帯は存在しない。	アフリカ大陸は赤道を挟んで南北に対称に近い形で広がっており、低緯度地域が面積の多くを占めるため熱帯の割合が高くなります。また、北部にサハラ砂漠、南部にカラハリ砂漠などの広大な乾燥地域を持つため、乾燥帯が全大陸の中で最も高い割合を占めます。地理的に高緯度地域を含まないため、統計上、亜寒帯（冷帯）や寒帯が全く存在しないことが大きな特徴です。
問8	答え 4 北の中国山地と南の四国山地が、夏と冬それぞれの季節風が運んでくる湿った空気を遮るため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地方は二つの山地に挟まれた地形をしています。冬の北西の季節風は中国山地で、夏の南東の季節風は四国山地でそれぞれ水分を落としてしまうため、瀬戸内側には乾燥した空気が流れ込みます。このメカニズムにより、年間を通じて降水量が抑えられています。
問9	答え 2 X：アルプス Y：地中海沿岸の夏の乾燥した気候	アルプス山脈はヨーロッパにおける大きな地理的・文化的境界となっており、その南側にはラテン系言語圏が広がっています。この地域は地中海性気候に属し、夏に雨が少なく乾燥するため、その気候に適応した地中海式農業が発展しました。オリーブなどの樹木作物の栽培は、この気候的背景と密接に関わっています。
問10	答え 4 漢字の音や訓を借りて、日本語の音を一つずつ漢字で表記した	奈良時代には独自の文字がなかったため、漢字を用いて日本語を表記する「万葉仮名」という手法が取られました。漢字の持つ意味ではなく、その「音」などを利用して日本語の響きをそのまま書き写したもので、この万葉仮名を崩して書くことで平仮名が、漢字の一部を取ることによって片仮名が後に生まれました。
問11	答え 3 市場までの輸送距離が短いため、輸送コストを低く抑えられ、鮮度を保てる点	近郊農業は、消費地である大都市のすぐ近くで生産を行うため、遠隔地からの出荷に比べてトラックなどの輸送にかかる費用が安く済みます。また、収穫から店頭に並ぶまでの時間が短いため、ほうれん草や小松菜といった傷みやすく鮮度が重視される葉物野菜の栽培において、特に強い競争力を持っています。